

ごあいさつ

校長 山本 敦子

地域・保護者のみなさまには、平素より本校教育にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。
今年度、校長として着任2年目の年となり、ますますこの学校が大好きになってきました。そして、本校の子どもたちや保護者・地域のみなさまのために、やりたいことや、やらなければならないことがはっきり見えてきました。

本校の子どもたちは、素直でかわいく何事にも一生懸命です。友達にも優しく接することができます。責任感もあります。しかし、これからの世の中を生き抜いていくためには「自立」を目指さなければなりません。「自分で考える力」「友達の意見や考えを聞きながら、正しく判断する力」「自分の命も人の命も大切に作る心」などを育てて、「自立」に向かって努力してほしいと考えています。でも、できないときもあります。がんばれないときは、素直に「たすけて」が言えるといいと思います。世の中には、いろいろな人が共に生きています。できないことは補い合って、一緒に生きていきたいです。

今年度は、教科担任制を取り入れました。教員の専門性を生かしてワクワクする授業をつくること、そして、子どもたちを複数の目で見守り、SOSに素早く対応することなどを目的としています。また、探究的な学習のなかでICT機器を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を追求していきたいと考えています。令和の新しい学校教育に挑戦しています。

究極の目的は、「誰一人取り残さない教育」です。校長としては、教員の働き方改革も進めなければなりません。やるべきことを精査しながら、この大きな目標に向けて、全教職員の力を結集してがんばりたいと思います。

地域・保護者のみなさまには、今後ご理解いただき、大きなサポートをお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の学校経営の柱

「三つの力」

ち え

基礎学力を身につけ、正しく判断する力
物事に興味をもち、自ら学び探究する力

ちから

健康でたくましく生きる力
創意工夫して課題を克服する力

まこと

自分も人も大切に作る心
自分を信じ、折れずに前に進もうとする心

自分から学ぶ
くふうで遊ぶ
命も大切に作る